



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 オートボックスセブン 上場取引所 東
 コード番号 9832 URL http://www.autobacs.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 喜夫巳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務・法務担 (氏名) 平賀 則孝 TEL 03-6219-8787
 当
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	98,105	3.5	1,860	88.2	2,451	56.8	1,317	84.6
29年3月期第2四半期	94,820	△3.9	988	△60.4	1,563	△50.0	714	△56.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,047百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △61百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.97	-
29年3月期第2四半期	8.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	186,577	127,158	67.9	1,534.66
29年3月期	176,708	127,392	71.9	1,540.12

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 126,626百万円 29年3月期 127,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
30年3月期	-	30.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	0.5	7,000	20.1	7,500	5.3	5,200	72.4	63.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	84,050,105株	29年3月期	84,050,105株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,539,123株	29年3月期	1,538,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	82,511,622株	29年3月期2Q	84,010,590株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は平成29年11月1日に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する資料及び説明会の模様（動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、経営資源の配分および業績評価について、平成30年3月期を初年度とする「2017中期経営計画」に合わせた管理区分の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の自動車関連業界の動向といたしましては、新車販売台数や中古車登録台数が回復傾向にあり、これに伴うカー用品関連の需要は前年の同時期と比較して改善傾向でありました。

このような状況のもと、当社グループは平成29年5月に発表した「2017中期経営計画」に沿って、「国内オートバックス事業の再生」と「将来に向けた成長ドライバーの育成」を軸に、収益の拡大と資産効率の向上のための施策に注力しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比3.5%増加の981億5百万円、売上総利益は前年同期比3.4%増加の316億93百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比0.6%増加の298億33百万円、営業利益は前年同期比88.2%増加の18億60百万円となりました。経常利益は前年同期比56.8%増加の24億51百万円となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益1億23百万円、特別損失として車・ディーラー・BtoB事業におけるカー用品の卸売ビジネスに関わる固定資産減損損失1億66百万円を計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比84.6%増加の13億17百万円となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

〔国内オートバックス事業〕

当第2四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店1.2%の増加、全店0.8%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、「2017中期経営計画」において、「プロフェッショナルでフレンドリーな存在になる」というスローガンのもと、商品・店舗の開発と人材の育成をすることにより自動車に関わる新しいマーケットを創造することに注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内タイヤメーカーによるタイヤの値上げに対応して、価格および品揃えを見直し、店舗における接客体制の強化に努めました。また、プライベートブランド商品「A.Q.（オートバックスオリティ。）」において、車内インテリアや消耗品を中心に新商品を発売し、利便性の高い商品の提供に努めました。さらに、クルマに関わるライフスタイルを提案するブランドである「JKM（ジェイケーエム）」「GORDON MILLER（ゴードンミラー）」を発売し、カーライフやガレージライフをさらに豊かにする商品の発売を開始いたしました。また、当社からの店舗の仕入原価率を低下させ、フランチャイズチェーン加盟法人の販売力を強化いたしました。このような取り組みが功を奏し、タイヤなどの販売が好調に推移し、当社子会社を含むフランチャイズチェーン加盟法人の収益力は改善傾向となりました。一方、カーナビゲーションの需要は減退傾向にあり、その売上が減少いたしました。車検・整備は、事業環境として車検対象の車両が増加するなか、「プロフェッショナルでフレンドリーな存在」を象徴する存在として、実際の店舗のピットで働く整備士にスポットライトを当て、技術力や自動車整備に対する情熱を伝える取り組み「AUTOBACS GUYS（オートバックスガイズ）」をスタートし、「いい整備士がいる。」というフレーズでテレビCMや店頭における車検の宣伝活動を展開いたしました。この結果、車検実施台数は前年同期比7.4%増加の約31万7,800台となりました。また、車買取・販売は、新しいイメージキャラクターによるテレビCMを通じて当社の車買取の差別化ポイントを訴求いたしました。しかし、買取査定に関わる人員の減少などに伴い、オートオークションなど中古車販売業者向けの販売が減少いたしました。この結果、総販売台数は前年同期比3.8%減少の約12,300台となりました。

また、「オートバックス府中」を、主にクルマにあまり詳しくないお客様でも心地よくお買い物ができ、最適なサービスを受けていただける新しい業態に転換し「オートバックスガレージ府中」として出店いたしました。さらに、ショッピングモールのお客様に対して洗車や車検の案内を行う「オートバックスMini」を2店舗出店いたしました。

一方、日本初のクルマを通じたライフスタイルショップとして「JACK&MARIE（ジャックアンドマリー）」を立ち上げ、国内最大級のファッション系通販サイトである「ZOZOTOWN」にて当社オリジナル商品を中心に販売を開始し、売上は順調に推移いたしました。上記、オートバックスチェーンで販売している「JKM」「GORDON MILLER」は、「JACK&MARIE」からの派生ブランドとして開発されたものであります。

これらの結果に加え、平成29年3月期および第1四半期において、オートバックスチェーンの店舗を運営する当社連結対象子会社をフランチャイズチェーン加盟法人に営業譲渡したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の国内オートバックス事業の売上高は821億45百万円（前年同期比1.6%減）となりました。しかし、タイヤ売上の増加などにより粗利率が改善し、セグメント利益は61億11百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は45億95百万円（前年同期比15.2%増）、セグメント損失は3億20百万円（前年同期は2億93百万円のセグメント損失）となりました。主に収益に対して影響を与えた地域といたしまして、フランスにおいては、景況感が回復傾向にあることに加え、安全点検を切り口としたタイヤやピットサービス売上が増加したことなどにより、第1四半期より利益が改善し黒字となりました。シンガポールにおいては、本年4月にガソリンスタンドのインショップ型店舗の出店やカーシェアリングの車両に対するサービス事業、さらにホームセンター向けの卸売など、将来的な収益の拡大に向けた取組みを開始したことなどにより売上が増加したものの、事業拡大のための人員の増強などにより経費が増加し、営業利益が減少いたしました。タイにおいては、昨年度の出店に伴い売上が増加し、小型店のモデル化も進行したことにより損失が縮小傾向にあります。また、現地の大手ガソリンスタンドチェーンのPTGグループと同チェーン内へのカー用品・サービス店の出店を目指し資本・業務提携をいたしました。さらにマレーシア、フィリピンにおいては、現地の提携企業向けの卸売を開始し、中国においては、カー用品の販売・サービスのプラットフォームの運営と車載用芳香剤の製造・販売を行う企業に出資をするなど、従来の当社による小売店舗の出店だけでなく、当社の強みである商品調達力、サービスのノウハウ、売場の提案力などを生かした事業を拡大する戦略を強化しております。

〔車・ディーラー・BtoB事業〕

車・ディーラー・BtoB事業における売上高は145億93百万円（前年同期比34.6%増）、セグメント損失は7億48百万円（前年同期は3億9百万円のセグメント損失）となりました。車買取専門店は直営店舗の増加に伴い、中古車の買取台数が増加したものの、新規出店の過程で計画に対して査定件数の不足や経費の先行的な発生により、損失が増加しております。輸入車ディーラー事業は、株式会社モーターレン栃木の株式取得に伴う店舗数の増加により、売上および利益が増加し、池袋地域の株式会社アウトプラッツと合わせて業績が順調に推移しています。BtoB事業は、ホームセンター向けの商品販売やEコマースの売上が増加したものの、オイルの仕入原価の上昇、ネット販売のシステムに関わる経費、物流経費の増加などによりセグメント損失が増加いたしました。

当社グループにおける出退店は、以下のとおりであります。

国内における出退店は、新店3店舗、退店3店舗であり、平成29年3月末の601店舗から変動ありません。また、9月末のカーズ加盟店舗は前年度末の468店舗から471店舗に増加いたしました。これらとは別に輸入車ディーラーは7店舗で営業しております。

海外における出退店は、新店が3店舗、退店が2店舗であり、合計39店舗と平成29年3月末の38店舗から1店舗増加いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,520	37,086
受取手形及び売掛金	20,032	27,999
商品	15,317	16,307
未収入金	20,863	16,710
未収還付法人税等	503	34
その他	13,992	13,650
貸倒引当金	△70	△70
流動資産合計	102,159	111,719
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,188	22,188
その他(純額)	19,988	19,742
有形固定資産合計	42,176	41,930
無形固定資産		
のれん	853	852
その他	5,743	5,139
無形固定資産合計	6,597	5,992
投資その他の資産		
差入保証金	15,357	14,539
その他	10,487	12,450
貸倒引当金	△70	△55
投資その他の資産合計	25,774	26,935
固定資産合計	74,548	74,858
資産合計	176,708	186,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,838	26,053
短期借入金	5,969	5,636
未払金	11,489	9,083
未払法人税等	473	1,097
ポイント引当金	477	411
その他	6,013	5,261
流動負債合計	37,263	47,544
固定負債		
長期借入金	679	962
引当金	98	84
退職給付に係る負債	129	75
資産除去債務	2,285	2,253
その他	8,858	8,498
固定負債合計	12,052	11,874
負債合計	49,315	59,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,299	34,298
利益剰余金	59,188	58,030
自己株式	△2,769	△2,771
株主資本合計	124,717	123,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,025	2,522
為替換算調整勘定	335	548
その他の包括利益累計額合計	2,360	3,070
非支配株主持分	314	532
純資産合計	127,392	127,158
負債純資産合計	176,708	186,577

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	94,820	98,105
売上原価	64,167	66,412
売上総利益	30,653	31,693
販売費及び一般管理費	29,664	29,833
営業利益	988	1,860
営業外収益		
受取利息	33	38
受取配当金	46	61
持分法による投資利益	—	58
情報機器賃貸料	501	355
その他	870	959
営業外収益合計	1,451	1,474
営業外費用		
支払利息	16	17
持分法による投資損失	49	—
情報機器賃貸費用	464	428
固定資産除却損	35	220
その他	310	216
営業外費用合計	876	883
経常利益	1,563	2,451
特別利益		
投資有価証券売却益	—	123
特別利益合計	—	123
特別損失		
減損損失	—	166
特別損失合計	—	166
税金等調整前四半期純利益	1,563	2,408
法人税、住民税及び事業税	627	938
法人税等調整額	239	130
法人税等合計	867	1,068
四半期純利益	695	1,339
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	1,317
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	492
為替換算調整勘定	△386	209
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	5
その他の包括利益合計	△756	708
四半期包括利益	△61	2,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30	2,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整 (注2)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注3)
	国内オー トバック ス事業	海外事業	車・ディ ーラー・ BtoB事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	83,216	3,896	7,221	94,334	486	94,820	-	94,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	246	91	3,619	3,957	400	4,357	△4,357	-
計	83,463	3,987	10,840	98,291	886	99,178	△4,357	94,820
セグメント利益又は 損失(△)	5,701	△293	△309	5,098	24	5,122	△4,134	988

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社のリース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,134百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整 (注2)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注3)
	国内オー トバック ス事業	海外事業	車・ディー ラー・ BtoB事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,972	4,446	11,193	97,611	494	98,105	-	98,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	173	149	3,400	3,723	302	4,026	△4,026	-
計	82,145	4,595	14,593	101,335	796	102,131	△4,026	98,105
セグメント利益又は 損失(△)	6,111	△320	△748	5,042	39	5,081	△3,221	1,860

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社のリース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,221百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営資源の配分および業績評価について、平成30年3月期を初年度とする「2017中期経営計画」に合わせた管理区分の変更に伴い、報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「車・ディーラー・BtoB事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該事業による当第2四半期連結累計期間の減損損失の計上額は166百万円であります。